



避難所ってどんなところ??

～被災して生活する場所を失った時のために～

災害が起こると、たびたびニュースで取り上げられる、「避難所」。よく耳にする言葉ですが、どんなところか知っていますか？

また、災害の種類によって、避難所が開設される場所や条件、タイミングが異なることを知っていますか？

普段から知識を備えておき、発災時にスムーズに行動できるようにしておきましょう。



◆避難所（ひなんじょ）とは？

災害によって被害を受け、生活する場所を失った人が、災害後、一時的に生活する場所。避難所で一緒になった方々は、避難所の一員として協力して共同生活を送ります。地震の場合は一定期間、風水害の場合は一晩から数日の滞在が一般的です。

★発災後もなるべく自宅で生活できるよう備えましょう。自宅での生活が困難な場合も、避難先の選択肢は避難所だけでなく、親戚避難など幅広く考えましょう。

《避難先の選択肢》

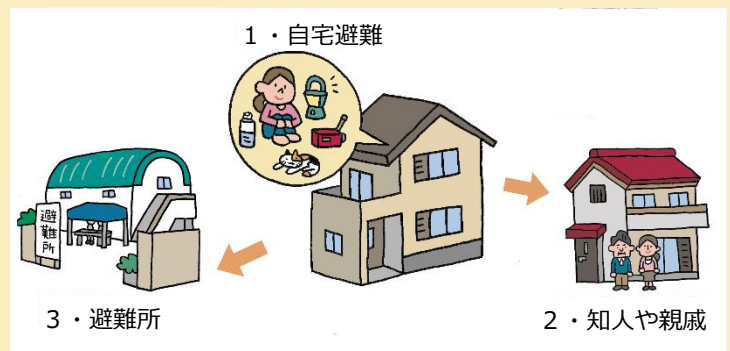
まず、①自宅



次に、②知人や親戚宅



最後に、③避難所



◆避難場所（ひなんばしょ）とは？

地震や津波、土砂崩れなどの災害により命に危険が迫っている際に、身の安全を確保するための場所。

例：津波避難タワー、高台広場、学校のグラウンド等



◆風水害・土砂災害の避難所



場 所

公民館・小中学校・一部地域の防災施設

開設の
タイミング

市から避難情報が発表された時

※避難情報発表時には該当地区で避難所が開設されています。テレビのdボタン、焼津市公式LINE、やいづ防災メール、市HPなどから開設状況を確認できます。

開設者

市役所職員

運営者

避難所に避難する人全員

持ち物

非常持出品など、1～2日生活するために必要なもの。調理不要の食べ物、飲み物など

避難所では、避難者みんなで協力して生活します。それぞれできることをやりましょう。

◆地震・津波の避難所



場 所

小中学校・一部高校・地域の防災施設など

開設の
タイミング

津波避難や消火活動、安否確認などの初動対応が終わり、施設が使える状態だと判断された後

開設者

地域の自主防災会（自治会・町内会）

運営者

避難所に避難する人全員

持ち物

非常持出品や備蓄品など、当面生活するために必要な身の回りのもの

約半日から数日以降

◆安否確認場所とは？

地震や津波などの大規模な災害の後、住民の安否を確認するための場所で、各自治会・町内会で決まっています。安否確認は、災害復興のために重要です。

わが家の避難者カード	自治会（ ）区）町内会 組			役職 氏名
	代表者氏名			連絡先
	避難者	大人	人	外出中で不在の家族
		高校生	人	
		中学生	人	自宅・近所にいたが安否不明の家族 <small>※裏面に詳細を記入してください。</small>
		小学生	人	
	未就学児	人	自宅の状態 <input type="checkbox"/> 居住可能 <input type="checkbox"/> 半壊 <input type="checkbox"/> 全壊	

わが家の避難者カード	安否不明の家族について		※裏面は災害時用です。訓練使用時は記入不要です。
	名前	年齢	その他伝えたい情報
		歳	
		歳	
		歳	

★焼津市作成の「わが家の避難者カード」は、災害時に使う、安否確認のためのツールです。実災害時には、1人でも多く命を救うために裏面もご活用ください。